

# 山口和男の議会報告

## 11月から368の公共施設（小中学校・幼稚園・保育園など）で放射線量測定を実施

### 浅川・長房・散田地域の空間放射線量測定結果

測定者 山口和男市議、清水ひで子都議、他2名  
測定日 2011年10月21日(金)

測定場所（特記以外は地上1m）	放射線量平均値 ( $\mu\text{Sv}/\text{h}$ )
駒木野公園(裏高尾町)	0.076
// (地上5cm)	0.082
// スベリ台下(地上5cm)	0.131
西浅川児童遊園地	0.096
// (地上5cm)	0.102
都営西団地中央広場	0.067
散田公園・散田町5-13(横中北側)	0.062
東浅川都立陵南公園・側溝上	0.165
// (1m)	0.096
// (中央)	0.062
森田宅前・初沢町三和団地1429-200	0.087
// (側溝)	0.153

### 高尾山の空間放射線量測定結果

測定者 清水ひで子都議  
測定日 2011年10月15日(土)

測定場所（特記以外は地上1m）	放射線量平均値 ( $\mu\text{Sv}/\text{h}$ )
浄心門（最初の門）	0.084
108段の中段	0.097
権見茶屋 横	0.101
もみじや 薬王院入り口付近	0.143
有喜寺不動産の土の上	0.066
薬王院の真上 道路脇	0.091
101-280管理番号 落ち葉の上	0.097
// (地上5cm)	0.105
101-300管理番号 道路脇	0.076
// (地上5cm)	0.100
山頂 広場入り口	0.048
山頂 大見晴園地碑前	0.054
仮設トイレ 前	0.084
落ち葉集積所前 (地上3cm)	0.145

測定器 ALOKA(アロカ) PDR-111型  
(10秒間隔10回測定の平均値)：マイクロシーベルト/時  
被ばく限度放射線量は0.23  $\mu\text{Sv}/\text{h}$ 以下とされています。

## 清水ひで子都議と独自に測定 特に数値の大きなところはありません

10月15日清水ひで子都議が高尾山の12地点の測定を行いました。10月21日には、清水都議と山口和男市議が一緒に、裏高

尾、西浅川、東浅川、散田、長房の6ヶ所、12地点の調査を行いました。その結果特に数値の大きな所はありませんでした。

放射線測定器



清水都議と放射線測定を行なう山口市議（裏高尾町 駒木野公園）

測定は2台の測定器で、市内の全小中学校、幼稚園、保育園、学童保育所、児童館、児童遊園、交通公園を測定。  
年内に完了する予定です。



9月8日から10月14日まで、第三回定例市議会が開かれました。30人の議員が一般質問を行い、市長提出議案には私が代表質問を行ないませんでした。また、二〇一〇年度決算の審議も行なわれ、日本共産党八王子市議団は、八王子駅南口再開発への巨額の

税金投入や川口の大物流センター計画に對し、反対しました。今号では放射線量の測定と決算の特徴についてお知らせいたします。

今定例会の一般質問で、私どもの会派の議員をはじめ多くの議員から福島第一原発事故による放射線量の測定を市内の小中学校や保育園、公園などで行なうよう市に求めました。

その結果、11月から市内三六八ヶ所で順次測定を実施することとなりました。私ども市議団は、すでに八月一日に市内の公共的施設で測定を行なうよう申し入れをしてきました。

測定は2台の測定器で、市内の全小中学校、幼稚園、保育園、学童保育所、児童館、児童遊園、交通公園を測定。

年内に完了する予定です。



連絡先  
八王子市裏高尾町518  
TEL 666-5801  
FAX 664-1061

日本共産党八王子市議団  
TEL 620-7317  
FAX 626-3398

# 平成21年度八王子市決算審議から 予定外の地方交付税50億円、財調は101億円に

(財政調整基金)

市の財政がどうなっているかー市政世論調査（23年度）でも最も市民要望の高いものが高齢者福祉に次いで財政の健全化です。第三回定例会では平成21年度の決算の審議が行なわれ、市の財政の実態が明らかになりました。その特徴をお知らせします。

## 1 借金60億円・臨時財政対策債を借りなければ予算が組めない

(収入の不足をおぎなうための借金)

前年度の途中で八王子市は歳入不足になり、初めて臨時財政対策債41億円を発行。22年度はついに年度当初から60億円もの臨時財政対策債を使わなければ予算が組めないことになってしまいました。これは税収が大幅（43億円）に減ると同時に、八王子駅南口再開発に21、22年度で合計252億円もの税金投入を行なわなければならなかつたためです。

## 2 一般会計では返す（公債費）より、借りる（地方債）方が上回る

「返す以上に借りない！」一黒須市政の財政運営の基本方針が一般会計ではじめてくずれました。返す（公債費）が159億円で、借りる（地方債）が164億円、5億円借金が上回りました。

## 3 地方交付税の不交付団体から交付団体に

市税などの財政力があることで、この7年間は国からの普通地方交付税がありませんでしたが、市税の大幅な減収により50億円が交付され、交付団体に転落しました。この交付税のほとんどを財政調整基金に積み立てたことにより財政調整基金（自由に使えるお金）は過去最高の101億円となりました。

## 4 財政指標は全体として改善

財政の健全化の指標である経常収支比率は84.7%で三多摩で武藏野市に次いで2番目。公債費比率も平成16年度20.8%であったものが8.6%と大幅に改善されました。黒須市政の初年度に3,183億円あった地方債残高は22年度末で2,353億円となり830億円削減されました。

区分	内 容
経常収支比率	84.7 (16年度 97.1)
公債費比率	8.6 (16年度 20.8)

経常収支比率 → 財政構造の良否を判断する指標で、おむね70～80%に分布するのが常で、80%を著しくこえると経常経費の抑制が求められる。

公債費比率 → 財政構造の弾力性を判断する指標でこの比率が高くなると将来財政硬直化の一因となる。

## 東日本大震災救援へ 2回目のボランティア 石巻の現地へ軽トラックを贈呈



支援カーを届けた救援復興ボランティア八王子実行委員と受け取った共同センターの皆さん

復興支援カー



登録ナンバー



5月21日から23日の第1回東日本大震災の救援ボランティアに25人が参加したのに続いて、第2回目のボランティアが9月17日～18日、前回と同じ石巻市に10人の参加で行われました。

今回は石巻市の現地から救援物資を配る軽トラックが欲しいという要望があり、八王子の多くの方にカンパをお願いしました。500人を超す方から百万円をこす寄付が寄せられました。

日本共産党八王子市議団から鈴木勇次市議とアオヤギ有希子市議が参加しました。

新車の軽トラックのナンバーも25-40(フッコウシエン、復興支援)とし、200キロのお米を乗せてゆきました。